

選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(特)日本年金 機構	副理事長	薄井 康紀	62	H22.1.1	社会保険庁総務部長 [OB]	清水 美智夫	61	厚生労働省社会・援護局 長 東京医療保健大学東が丘 看護学部特任教授 [OB]	応募総数 28名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(4名) 任命権者が選任 ↓(1名) 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

(特)日本年金機構 役員名簿新旧対照表

役職	現任者					就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日	
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢			前歴
理事長	水島 藤一郎	68	H25.1.18	2	H27.12.31	(独)年金・健康保険福祉施設整理機構理事長 室町ビルサービス(株)顧問					
副理事長	薄井 康紀	62	H22.1.1	2	H27.12.31	社会保険庁総務部長 【OB】	清水 美智夫	61	厚生労働省社会・援護局長 東京医療保健大学東が丘看護学部特任教授 【OB】	理事長	H28.1.1
理事	木谷 豊	60	H26.1.1	2	H27.12.31	日本年金機構人事管理部長					
理事	朝浦 幸男	59	H26.1.1	2	H27.12.31	厚生労働省老健局老人保健課 介護基盤情報分析官 【役員出向】					
理事	深田 修	57	H25.1.18	2	H27.12.31	内閣官房内閣審議官(新型インフルエンザ等 対策室長) (独)国立長寿医療研究センター企画戦略室長 【役員出向】					
理事	徳武 康雄	62	H26.1.1	2	H27.12.31	富士通(株)システム生産技術本部フィールド支 援統括部プロジェクト統括部長 日本年金機構本部基幹システム開発部長					
理事	大澤 範恭	56	H25.1.18	2	H27.12.31	厚生労働省老健局総務課長 日本年金機構中部ブロック本部長 【役員出向】					
理事	福原 元	61	H27.4.1	2	H27.12.31	(株)伊勢丹営業本部部長 日本年金機構本部監査部長					
理事	村田 恒子	57	H26.1.1	2	H27.12.31	パナソニック(株)リーガル本部特命担当理事					

公募

現 任 者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日	
役 職	氏 名	年 齢	当初就任 年月日	任 期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年 齢			前 歴
理 事 (非常勤)	大宅 映子	74	H26.1.1	2	H27.12.31	(公財)大宅壮一文庫理事長 (株)西武ホールディングス社外取締役					
理 事 (非常勤)	小幡 尚孝	71	H25.4.1	2	H27.12.31	三菱UFJリース(株)取締役会長 近畿日本鉄道(株)社外取締役					
理 事 (非常勤)	川端 和治	70	H25.4.1	2	H27.12.31	弁護士(霞ヶ関総合法律事務所)					
理 事 (非常勤)	三木 雄信	43	H22.1.1	2	H27.12.31	ジャパン・フラッグシップ・プロジェクト(株)代表 取締役社長					
監 事	寺沢 徹	61	H26.1.1	2	H27.12.31	BNPパリバ銀行内部管理統括責任者・総務部 長 日本年金機構本部リスク・コンプライアンス部 長					
監 事 (非常勤)	澤本 和男	69	H26.1.1 (H23.4.1)	2	H27.12.31	三菱電機(株)取締役 日本年金機構監事(常勤)					

日本年金機構副理事長選任理由

日本年金機構の使命は、政府が管掌する厚生年金保険事業及び国民年金事業等について、法律に基づく業務等を行うことにより、政府管掌年金事業の適正な運営や年金制度に対する国民の信頼の確保を図るとともに、国民生活の安定に寄与することにある。

このような使命を有する機構にあって、副理事長(統括管理部門担当理事併任)には、そのミッションとして、理事長を補佐して機構の業務を掌理するとともに、中期計画の推進など法人運営全般に関する業務を確実に実施していくことが求められている。

本件公募に対しては28人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について選考委員会が面接を行った結果、清水美智夫氏を適任と判断し、他の3名の情報も併せて任命権者である理事長に提示したところ、別途、候補者と面談した理事長も清水美智夫氏を最適任と判断し、所管大臣との協議を行い、同氏を選任したところである。

選任理由は、機構発足から約6年が経過する中で、未だ多くの課題を抱え法人運営が難しい重要な時期にあって、同氏は、公的年金に関し豊富な知見を有し、大規模組織の改革や法人の経営刷新に取り組んだ経験があるなど職務内容書で必要とされる能力、経験が十分認められ、かつ、機構の経営改革を実施するという強い意欲を持っていることなどが、選考委員会によって最も高く評価されたことによるものである。

このことから、機構において職員2万人を超える組織を統率していくことに加え、様々な課題の解決に向けて、リーダーシップを発揮することが期待できるため、理事長を補佐する副理事長として、同氏が最適任者であると判断したものである。

選考委員会の属性について

【厚生労働省】

- ・ 日本年金機構 副理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学教授 3名
- ・ 会社(役)員 1名

計 4名